

アイ・オー・データ機器 環境報告書 2010

Environment Activity 環境への取り組み

対象期間:2009年7月1日~2010年6月30日

アイ・オー・データ機器 環境情報は

→ <http://www.iodata.jp/company/environment/>

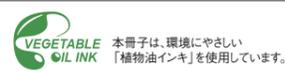
→ または弊社ホームページで

環境への取り組み

検索

2010年度(35期) 環境報告書

株式会社 **アイ・オー・データ機器**



会社概要 Corporate Information

社名 株式会社アイ・オー・データ機器
 設立 昭和51年(1976年)1月10日
 代表者 代表取締役社長 細野昭雄
 資本金 3,588百万円
 年商 44,632百万円(連結ベース 2010年6月期)
 株式上場 JASDAQ(コードNo. 6916)
 従業員 599人(連結ベース 2010年6月期)
 560人(単体ベース 2010年6月期)
 業務内容 PC周辺機器全般の開発、製造、販売
 子会社 国際艾歐資訊股份有限公司
 艾歐資訊横山(香港)有限公司
 I-O DATA America, Inc.
 関連会社 I-O & YT Pte. Ltd.
 株式会社デジオン
 クリエイティブ・メディア株式会社
 (2010年6月30日現在)



事業案内 Corporate Information

パソコンやデジタル機器をお客様の用途や目的に合わせてカスタマイズする際の良きサポート役、これが周辺機器です。アイ・オー・データ機器は、この分野において、機能性やユーザビリティはもとより、感性に訴えるデザインにいたるまで、市場から高い評価を受けています。高度化・多様化の一途をたどる情報社会の中、30年以上に渡り培ってきた技術を用いて、時代を見据えた製品展開により多様なニーズにお応えすることが私たちの不変なる使命であると考えております。お客様一人ひとりの声に耳を傾け、皆様のデジタルライフを支える存在となるべく、アイ・オー・データ機器は挑戦を続けてまいります。

メモリー Memory



動画データの再生や編集、ゲームを楽しむ時も、大容量メモリーの増設で、あなたのパソコン環境もぐっと快適に。先端のDDR3SDRAMはもちろん、環境に配慮したRoHS指令対応モデルまで、豊富なラインナップを取り揃えています。

ストレージ Storage



あなたの大切なデータを簡単に保存・管理するストレージ(記憶装置)分野でも、アイ・オー製品は市場から高い支持を得ています。最新の規格・メディアに対応したドライブに、アイ・オーならではの工夫を加えて、使いやすさと高い信頼性を兼ね備えた製品を提供しています。

フラッシュメモリー Flash Memory



携帯電話やデジタルカメラは今や手放すことができない存在。写真画像や音楽データの保存・パソコンへの転送・友人との受け渡しなど、デジタルライフを楽しむ時にも、アイ・オー製品は大活躍。「高性能」と「使いやすさ」をあわせ持ったものだけを提供します。

マルチメディア Multimedia



「録る・見る・創る」——映像&音楽を自分だけのライフスタイルで自由自在に楽しんでみませんか。地デジ放送の受信に欠かせない地デジチューナーや、インターネット動画配信に対応したSTB(セットトップボックス)、地デジ対応TVキャプチャなど、パソコンの枠を超えた楽しみを実現します。

ネットワーク Network



ネットワークを介したデータ共有や、データのバックアップに適したネットワーク接続ハードディスク(NAS)、そして、快適なデジタルライフに欠かせない無線LANや、携帯通信、次世代ネットワーク対応製品に至るまで、豊富にラインナップ。ホームからオフィスまで最先端のネットワーク環境の構築に貢献します。

液晶ディスプレイ LCD



人とパソコンとの一番大切なインターフェイス「ディスプレイ」。映像をありのままの鮮やかさで映し出す高い色再現性、スマートでスタイリッシュなデザイン、そして環境に配慮した「ECOモード」。これまでの液晶ディスプレイの常識を覆す、最先端の「美」がここにあります。

編集方針 Editorial Policy

私たちが環境ISO14001の取り組みを始めてから、約9年が経ちました。最初は事業所内の省エネ、ゴミの減量、紙の使用量削減などを目標として無駄を無くす活動を進めてきました。その後、お客様に喜んでいただけるような目標設定を心がけてきました。まだまだ、お客様にご満足いただける十分な成果を上げるための目標設定には至りませんが、今後も一層の努力を行って参ります。当環境報告書、環境保全活動について、お客様の忌憚ないご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

環境管理責任者

ご意見、お問い合わせはこちらまで…

ホームページアドレス	http://www.iodata.jp/
住所	〒920-8512 石川県金沢市桜田町三丁目10番地
連絡先	E-mail: environment@iodata.jp
発行月	2010年9月
次回発行予定	2011年9月
対象分野	環境、社会貢献
作成部署	技術支援部・広報販推部
対象範囲	株式会社アイ・オー・データ機器・本社 第1ビル・第2ビル
対象期間	2009年7月1日～2010年6月30日(35日)

社長メッセージ Top Message

アイ・オー・データ機器は周辺機器を通じて、パソコンをはじめ皆様の身の周りにあるデジタル機器に新たな価値をもたらすことを使命と考え、多岐に亘るコンピュータ関連技術の蓄積と、先進的な製品創りに努めてまいりました。

こうした中、当社では「事業活動と自然との調和共生」を環境方針に掲げ、先進の環境配慮型製品の研究開発を通じ、より安全で環境にやさしい製品やサービスの提供により、社会との環境共生を図りながら持続可能な循環型社会の実現に向けて取り組んでいます。

新製品はもとより既にお客様のお手元でご使用いただいている製品に対しても、導入するだけで自動的に省電力を実現するプログラムの配布を進めております。また事業活動における環境負荷低減の推進や環境保全活動の継続を通じて社員ひとりひとりに環境意識が根付いてきたことを実感しております。

しかしながら世界的な気候変動が起こる中、IT業界が「環境に対して果たすべき役割」はまだまだ多く存在しております。当社は約30年に亘り培ってきた技術力と価値創造力を活かし、PC周辺機器分野において進めてきた環境負荷低減に向けた取り組みを、デジタル家電周辺機器分野にも拡大させ、環境面からも『皆様のデジタルライフを支える存在』へと進化を遂げてまいりたいと考えております。

今後ますますCSR(企業の社会的責任)が重要視されていくとの認識のもと、より広い視点で各ステークホルダーの皆様との連携を深め、引き続き企業としての社会的責任を果たしていく所存であります。

アイ・オー・データ機器の企業力をさらに向上させていくためにも、皆様から忌憚のないご意見・ご指導をいただければ幸甚に存じます。



株式会社 アイ・オー・データ機器
代表取締役社長

細野 昭雄

アイ・オー・データ機器 環境報告書 2010

環境への取り組み
Environment Activity
対象期間:2009年7月1日～2010年6月30日

CONTENTS

- 01 会社概要、編集方針
- 02 社長メッセージ、目次
- 03 環境方針
- 04 製品環境マネジメント
- 05 環境に配慮した製品作り
- 06 環境に配慮した製品作り
および開発者インタビュー
- 07 地域貢献活動
- 08 環境活動
- 09 環境コミュニケーション
- 10 データシート

■ 環境方針：事業活動と自然との調和共生

アイ・オー・データ機器は、パソコン周辺機器&デジタル家電のリーディングカンパニーとして情報社会への貢献を企業理念とすると共に、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、事業活動や製品の様々なライフサイクルを通して環境負荷低減を目指し、持続可能な社会の実現に向けて行動する。

■ 環境行動方針

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、地球環境の保全・汚染の予防に努める
2. 環境関連法規制、業界の自主規制を順守し、利害関係者の環境への要求事項に対して積極的に取り組む
3. 社外の環境保護・保全活動・行事への協力・支援を通じ社会貢献に努める
4. 環境目標を定め、これを見直しながら以下の活動を推進する
 - (1) 製品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める
 - (2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する
 - (3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める
 - (4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める
 - (5) 環境に関する情報開示に努める
5. 当環境方針は、全従業員及び社外の為に働く全ての人に周知し、また、社外にも公開する

2009年7月

■ 環境目標と実績

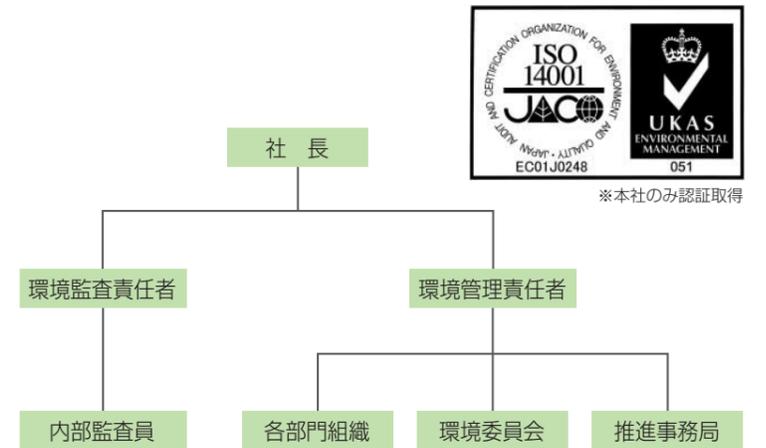
分類	環境方針	部門別目標	目標	実績	評価	
環境目的・環境目標に関する活動	(1) 製品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める。	環境配慮設計事項に関して当社製品環境アセスメント基準のオプション項目を10個以上「評価OK」にする(34期実績を維持する)	〈対象製品カテゴリ〉 地デジチューナー メディアプレーヤー TVキャプチャ/ワンセグ	オプション項目 10個以上/1製品	オプション項目 12個	😊
		新規開発製品の環境配慮設計事項に関して当社製品環境アセスメント基準のオプション項目を出荷製品毎の平均値が期末までに10個以上「評価OK」にする	〈対象製品カテゴリ〉 LANDISK ネットワーク	オプション項目 平均10個以上	オプション項目 12個	😊
		環境配慮設計事項に関して当社製品環境アセスメント基準のオプション項目を出荷製品毎の平均値が期末までに HW新規設計製品 : 7個以上 HW新規設計製品以外 : 5個以上 「評価OK」にする	〈対象製品カテゴリ〉 通信 WiMAX ICカードリーダー	オプション項目 HW新規設計製品 : 7個以上 オプション項目 HW新規設計製品以外 : 5個以上	オプション項目 11個 オプション項目 11個	😊 😊
		PCGL2009取得製品において、加点項目の比率を35%以上とする。 新規ディスプレイ製品において、エナジースターV5.0取得率を期末までに70%以上とする。	〈対象製品カテゴリ〉 液晶ディスプレイ	加点項目比率 35%以上	加点項目比率 37.5%	😊
		PCGL2009の環境性能ランク「☆☆☆」を取得するための製品仕様、影響コストの検討を実施する。		取得率 70%以上	取得率 83%	😊
		スイッチングハブ製品で、「新省エネ法で定める基準エネルギー消費効率を下回る製品」を3製品リリースする。	〈対象製品カテゴリ〉 スイッチングハブ	3製品	3製品	😊
		既存製品と比べて新製品から削減された梱包材の質量を計測し、35期下期で1tの梱包材の削減を行う。(削減量×新製品出荷台数≥1)	〈対象製品カテゴリ〉 メモリモジュール USBメモリ 液晶ディスプレイ	1t削減	3t削減	😊
	REACH対応ガイドラインを作成し1製品のREACH対応を実施し、運用確認を行なう。		1製品	1製品	😊	
	(2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する。	製品の検証作業に関わる使用電力を抑制に繋がる設定項目の実施目標を75%とする。		75%	99%	😊
		電気・灯油の使用量を基準値よりCO ₂ 換算で10.0%削減する。 (※基準値) (本社・第2ビル:31期実績値) + (アイオーラボラトリー:34期実績値)	10.0%削減	13.3%削減	😊	
		環境配慮したシステム設計・導入、運用変更を行う。(年3件)	3件	3件	😊	
	(3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める。	社内不要物を買取業者に払い出しする事で、本社ビルからの機械類廃棄を低減する。質量ベースで33期比40%削減	40%削減	53%削減	😊	
		廃棄物(不用品)を削減する為、リサイクル化を推進し、リサイクル比率を93%にする。	93%	94%	😊	
	(4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める。	機構、包装設計における、3Rを軸とした、環境配慮型設計の方法を調査し、チェックリスト、機構設計基準書、一般包装設計基準書および、製品環境アセスメント基準書改版のドラフト作成。	100%	100%	😊	
		組替オーダ(在庫調整オーダ)の件数及び対象個数を34期結果の5%減とする。 ※名入れ、不具合の組替を除く	5%減	件数:38%減 対象個数:32%減	😊	
(5) 環境に関する情報開示に努める。	環境アセスメント評価など関連項目を、Webまたは誌面で年間5件公開する。	5件	5件	😊		

【総評】35期はREACH規制の対応に向けた目標など、前期より一歩進んだ環境配慮設計に取り組みました。また、ハイブリットカーやLED照明、省エネタイプ照明(HF照明)を一部を導入したことにより、CO₂の排出量を削減することができました。機械類等のリサイクル化を進め、廃棄物を削減し、製品の生産に伴う廃棄物を抑える目標についても、大きな成果がありました。社員が社会貢献活動に参加することが定着し、それを当社HPに紹介するなど環境情報の公開についても積極的に取り組みました。全ての目標に対して、実績が目標値を上回ることが出来ました。しかし、継続的な目標に対する新たな課題もありません。36期はそれらの課題を踏まえた目標を設定し、達成に向けて取り組んでいきたいと考えています。

■ 環境マネジメントシステムの状況

2002年1月、地球の環境保全を目的とした国際規格である「ISO14001」の認証取得し、PDCAのサイクルを基盤とした環境マネジメントシステムを構築しました。環境方針を基に各部門で目標及び実施計画を立て→運用→監査→マネジメントレビューといったサイクルによる継続的な改善を実行しております。また、毎月環境委員会を開催し、各部門の実施計画の進捗状況や報告、教育、環境に関する重要事項の審議・決定を行っております。

■ 環境マネジメント体制図



■ リコーCMS認証の更新



近年、化学物質関連の規制が厳しくなっています。特に企業においても化学物質をいかに管理するかが問われてきています。このような情勢の中、当社では、規制の遵守は当然として環境負荷の少ない安全な製品を提供し続けるため、株式会社リコーの化学物質管理システム(CMS)の認証を取得し、2010年7月に更新審査に合格いたしました。

■ PCグリーンラベル2010年度版取得

当社は一般社団法人パソコン3R推進協会の策定する「PCグリーンラベル」企業審査に合格し、液晶ディスプレイの対応製品を提供いたしております。「PCグリーンラベル」制度はパソコン及びディスプレイが対象で、設計・製造からリユース・リサイクルに至るまで、環境に対する包括的な取り組みを表した環境ラベルです。2010年4月より消費者にさらなる環境情報の提供を行い、環境配慮型パソコンを普及促進することを目的に環境性能が可視化されました。環境性能と省エネ(地球温暖化対策)、化学物質管理(環境汚染、健康被害対策)、3R(資源枯渇対策)の3本柱の評価項目(加点項目)を「環境配慮型製品情報」にて公開しています。この加点項目の達成状況に応じて、環境性能レーティング(星マーク)で格付けが行われます。環境性能レーティングとは、☆☆☆は達成率35%未満、★★☆は35%以上70%未満、★★★は70%以上を示します。なお、適合製品の審査基準との適合性については当社の責任です。



■ 環境配慮型ディスプレイとは



環境配慮型製品情報

製品名	環境性能	省エネ	化学物質	3R
液晶ディスプレイ	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
液晶ディスプレイ	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆
液晶ディスプレイ	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆

環境に配慮した製品作り Making eco-friendly products

消費電力の少ない部品を積極的に採用し、大幅な省電力化を実現しています。

液晶ディスプレイのバックライトに白色LEDを採用

従来の液晶ディスプレイ製品では、バックライトシステムに蛍光灯とよく似た冷陰極管を4本(4CCFLモデル)使用していました。アイ・オー・データでは2010年5月、バックライトに話題の白色LEDを採用した「LCD-MF231Xシリーズ」を発売。バックライトシステムをモデルチェンジし、従来のCCFLモデルと比較して大幅な省電力化を実現しました。

従来の冷陰極管(CCFL)採用モデルも省電力化

従来の4本の冷陰極管(4CCFL)採用モデルもモデルチェンジ。冷陰極管の使用本数を4本から2本に削減した低消費電力パネルを採用し、こちらも大幅な省電力化に成功。2本になったら画面が暗くなってしまわないか?と思われるがちですが、通常の使用には支障のない明るさを保ちながらの省電力化に成功しました。

液晶ディスプレイ省電力モデルの特長

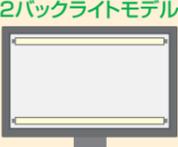
白色LEDモデル



白色LEDバックライトモデルの特長

- 消費電力が少ない
- CO₂排出量が少ない
- 薄型化による使用原材料の削減

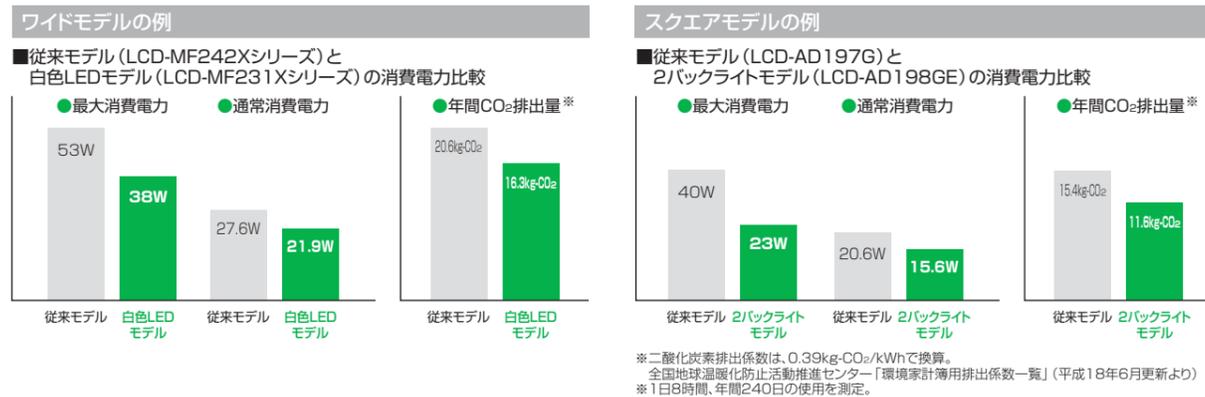
2バックライトモデル



2バックライトモデルの特長

- 消費電力が少ない
- CO₂排出量が少ない
- バックライトの高性能化により、2本になっても通常の使用感は損なわない

従来製品 4バックライト



新省エネ機能「ECOステップモード」

輝度設定をしても「いったいどれだけの節約になるのか」といったことはなかなかわかりづらいもの。それを解決するために、新省エネ機能「ECOステップモード」を開発しました。

「ECOステップ機能」ならば削減W(ワット)数を確認しながら、逆引きで輝度を設定することが可能です。どれくらい削減できるのか視覚的に確認でき、数値目標を立てる場合にもとても便利な機能です。



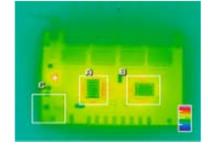
スイッチングハブに省電力機能を搭載

ネットワーク上に接続されるスイッチングハブは性質上、常に電源が入っていることが多くなる製品です。省電力機能を有したETG-ESHシリーズ/ETX-ESHシリーズであれば使用していないポートを自動で判断し電力をカット。時間帯によってはパソコンがほとんど使われることのない一般のご家庭などで、「省エネ」な環境を提供いたします。



熱シミュレータを利用した設計

パソコン周辺機器の内部にはいくつか熱に弱い部品が入っています。内部温度が異常に上昇するとエラー等不具合の発生や寿命に影響するため熱対策が重要となっています。当社は環境配慮設計(リデュース・長寿命化)の一環として熱シミュレータを利用して製品の温度状況にも配慮した設計を考えています。



開発者インタビュー Interview

従来製品と比較して大幅に消費電力化した液晶ディスプレイ「LCD-MF231Xシリーズ」。こちらについて当社開発チームにインタビューを行いました。

Q バックライトに白色LEDを採用した背景はなんですか?

白色LEDの性能がアップし発熱が少なくなり、比較的安く手に入るようになった事が背景にあります。消費電流が少ないことも省エネにつながり、環境への配慮になると考えバックライトに白色LEDを採用しました。

Q 今後の製品開発において環境に関連した目標などはありますか?

お客様に品質がよく使いやすいものをお届けするために、LEDバックライトモデルの採用を推進していきたいと思えます。また、環境性能の一つの指標となるPCグリーンラベル制度での★★★取得にも取り組んでいます。

Q 白色LEDを搭載するにあたり、大変だったことは?

白色LEDの信頼性を確認するのが大変でした。当社だけでは確認がとれないため半年にわたり海外のメーカーと交渉を行い、信頼性を高めることができました。また、メーカーと協力しあいさまざまなノウハウを積み上げることができました。

Q 工夫したことなどはありますか?

製品を薄くするために筐体のデザインにもこだわり、お客様が使いやすいようにスピーカーや入力端子の位置を改良しました。また、ディスプレイを薄型にすることにより、本体の軽量化にもつながりました。

Q 同時期に低消費電力パネルを採用したモデルも発表しています。これについてお聞かせください。

バックライト本数を4本から2本に削減することで省電力化しています。バックライト1本1本の発光性能や省電力性能も向上し、本数を削減しても通常の使用に差し支えない明るさを実現できました。

Q 液晶ディスプレイの省電力化が、ユーザーの皆様と与える影響にはどのようなものかと考えていますか?

省エネモード時の表示を変えたことにより、お客様にどれだけの消費電力(W)が減ったか目に見てわかるようになりました。お客様が省エネ機能とエコを結びつけることができ、環境意識を高める事ができたと思います。

Q 当社液晶ディスプレイ製品をご利用いただいている皆様へ、メッセージをお願いします。

吉田
サポートセンターから頂いたお客様の声を製品に反映しています。今後もよりよい製品を提供できるように、お客様の声を第一にものづくりをしていきます。

岡田
いつも当社液晶ディスプレイをご愛用いただき、ありがとうございます。今後もお客様からの信頼向上を目指し、製品の開発をしていきます。これからもアイ・オー・データ機器をよろしく願いいたします。

白色LED製品(左)と4バックライト製品(右)の側面比較

左より第2開発本部 IT統括部 技術開発課 吉田雅人、岡田淳

地域貢献活動 Regional Contribution Activity

■ 犀川清掃ランニング(ウォーキング)

- 日時：2009年9月19日(土) 6:00~8:00
- 場所：金沢市犀川
- 主催：犀川両岸健康利用推進会(犀健会)

金沢は犀川と浅野川が流れる豊かな自然環境を持っており、アイ・オー・データ機器はその犀川のほとりにあります。普段慣れ親しんでいる犀川をみんなで綺麗にしよう、という犀川清掃ランニング(ウォーキング)という行事があり、当社も昨年よりこれに参加しています。



参加者より一言

昨年同様、煙草の吸殻が多く見受けられました。これらは自然には発生しないゴミなので、川を美しく保とうとすれば地域の皆様の協力が不可欠であると実感しました。

■ 新入社員美化清掃活動

- 日時：2010年4月2日(金) 13:00~15:00
- 場所：アイ・オー・データ機器 本社周辺
- 主催：アイ・オー・データ機器

毎年、新入社員教育の一環として社屋周辺の美化清掃活動を行っています。

今年の新入社員12名と数名の先輩社員で、「自分たちの会社近辺を綺麗に!」を合い言葉に清掃活動を実施しました。多かったものはやはり煙草の吸殻や空き缶など。途中、大物も見つかり苦労しましたが、地域を綺麗にした実感がわきました。



新入社員の一言

掃除をしてみると、普段歩いている道に、タバコや空き缶のポイ捨てがとて多くて残念でした。地域の方とも協力して、今後はごみがない街にしていきたいです。

■ クリーン・ビーチいしかわ

- 日時：2010年5月30日(日) 7:00~8:00
- 場所：石川県金沢市専光寺海岸
- 主催：クリーン・ビーチいしかわ実行委員会

「クリーン・ビーチいしかわ」とは1995年から実施されている、石川の海岸線583キロをきれいにする海岸愛護運動です。地元石川県の海岸線をきれいにしようと、アイ・オー・データ機器も参加しました。薄曇りの中たくさんの方々に参加され、海岸がきれいになっていく様子は素晴らしいものがありました。



参加者より一言

クリーンビーチには、初めて参加したのですが、参加者がとても多くてびっくりしました! 大勢の参加者と一緒にビーチの掃除をすると、ごみが多かったビーチもとてもきれいになり、気持ちよかったです。また、来年も参加したいです。

環境活動 Environmental Activity

地球環境に配慮し、様々な環境活動を行っています。

■ 『いいね金沢環境活動賞』受賞

当社は、金沢市から平成21年度「いいね金沢環境活動賞」を受賞しました。これは、金沢市環境政策の一環として積極的に環境保全活動を行い、他の模範となる優れた取組みをした個人・市民団体・事業所を表彰するものです。写真は2010年2月23日に行われた表彰式の模様です。環境保全の部にて当社を含め1個人、1団体、4事業所が受賞しました。今後も本賞に恥じめよう、継続して環境保全活動を続けてまいります。



■ ハイブリッドカーを営業車に導入

老朽化した営業車1台の買い替えにあたり、環境に配慮した「ハイブリッドカー」を導入しました。地域を広く走り回る営業車となりますので、CO₂排出量の削減及び、当社環境活動のアピールにも繋がればと考えます。



■ ストレッチフィルム 有価物回収の実施

従来、産業廃棄物として年間約4トン排出し、再生処理を行っていたストレッチフィルム(製品梱包時の荷くずれ防止のために使用)を、有価物として再資源化できるように処理方法を変更しました。

ストレッチフィルムは有価物として回収されたあと、マテリアルリサイクル(再資源化)され、買い物袋等ポリエチレン製品に生まれ変わり、循環型社会へ貢献しています。



■ 食堂・照明器具を省エネタイプのモデルに変更

本社ビル食堂に設置されている照明器具の老朽化に伴い、省エネタイプの照明器具へと変更しました。より効率の良い点灯方式を検討し、照明器具の設置台数を20台から16台へと削減。従来の照明器具と比較し、消費電力及びCO₂排出量をそれぞれ約46%削減いたしました。

■ チャレンジ25を積極的に推進

「チャレンジ25」とは政府が呼び掛ける地球温暖化防止のための国民運動で、これまでの「チーム・マイナス6%」から、よりCO₂削減に向けた運動を展開しようとするものです。オフィスや家庭などにおいて実践できる行動を「6つのチャレンジ」、それをより具体的な「25のアクション」とし実践することを目標としています。アイ・オー・データ機器は企業として「チャレンジ25」を積極的に推進、昼休み時間の消灯やエアコンの28度設定など社内全体で実践しています。また、全国FMネットワークJFN38局で放送した「FreeTempo」という番組で、ラジオリレーCMを展開。当社を石川県の「チャレンジ25」へのチャレンジャー企業として取り上げていただきました。



■ メールマガジンによるお客様とのコミュニケーション



2009年10月8日配信
犀川清掃ボランティアに参加

9月中旬、普段慣れ親しんでいる犀川を早朝ランニングやウォーキングをしながらみんなで綺麗にしよう、という犀川清掃ランニング(ウォーキング)という行事があり、当社も昨年よりこれに参加しております。早朝6:00のすがすがしい空気の中、河畔をウォーキングしながらゴミを回収。やはり煙草の吸殻等が多く、川の中にカラーコーン等の大きなゴミもあり回収には一苦労…。8:00ごろ予定地域を一周りし、一通りの清掃が完了。今後も地元企業として、できうる限りの協力をしていきたいと考えております。

▶ 詳細7ページ

お客様の声

- ・ボランティア社会に貢献する企業は必ず成功発展する。
- ・ボランティア清掃活動に参加する皆さんの様子が、記念写真からわかりました。企業としての姿勢に好感が持てます。
- ・新製品の紹介や技術情報もいいのですが、今回のような地元の情報も読んでいて楽しく、IO社の皆さんの顔が見えたような気がしました。

2010年3月4日配信
チャレンジ25の活動

「チャレンジ25」では地球温暖化防止のために、みんなができる6つのチャレンジを推進。さらにその具体的な実践内容を25のアクションとしてまとめており、アイ・オー・データ機器ではその活動に積極的に取り組んでいます。

この活動について全国FMネットワークJFN38局で放送中の「FreeTempo」という番組で、全国的にラジオリレーCMを展開。アイ・オー・データ機器を石川県の「チャレンジ25」へのチャレンジャー企業として取り上げていただきました。

▶ 詳細8ページ

お客様の声

- ・チャレンジ25。勉強になった。
- ・環境について取り組んでおられる所は感心しました。頑張ってください。
- ・環境問題を取り上げている点良かった。

2010年4月8日配信
会社周辺地域の清掃活動

2010年4月1日、今年も当社に12名の新入社員が入社しました。新入社員の恒例行事として、社屋周辺の美化清掃活動を行っています。とびきりのフレッシュさをもつ彼らと一緒に清掃活動をする事でいろいろと元気をもらい、日々の仕事への活力とすることができました!

▶ 詳細7ページ

お客様の声

- ・新入社員の恒例行事として4月だけの恒例行事だけでなく、毎月毎日の行事にして欲しいものです。
- ・興味のある記事「環境への取り組み」新入社員の皆さん、これからも頑張ってください。
- ・新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

2010年6月3日配信
「クリーンビーチ石川」に参加

5月30日の日曜日早朝、石川県内で「クリーンビーチ石川」が開催されました。これは地元石川県の海岸線をきれいにしようという志のもと、石川県内の5つの会場で海岸清掃を行うもので、アイ・オー・データ機器も参加しています。

朝8時の薄曇りの中、1時間程度海岸線の清掃を行いました。たくさんの方々が参加され、海岸がきれいになっていく様子は圧巻でした。参加者からは「ゴミを拾っているうちに楽しくなった」、「朝早いのがちょっとつらいけど、すがすがしい気持ちになった」という声が聞かれ、有意義な時間とすることができたと思います。

▶ 詳細7ページ

お客様の声

- ・「グリーンビーチ石川」の参加は良かったですね。その様な取り組みは事前に知らせて欲しいですね。石川は少し遠いけど息子が居るのを見ながら出かけるのも良いかな?と思いました。

■ 法人向け「ソリューションフェア」にて、省エネ快適コーナーを展示

2010年4月22日(木)から5月27日(木)にわたり、文教、官公庁・民間企業、販売店様に向けたソリューションフェア「2010 Spring」を実施。東京会場においてユーザーの在席・離席を感知してPCと液晶ディスプレイの状態を制御するWindows 7 Sensor API準拠ユニット「WinSensor」の展示を行いました。



■ 主要な環境パフォーマンスの指標の推移 ※1

報告対象期間(期=7/1~翌6/30)	項目	単位	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
	電力使用量(本社のみ)	1,000kwh	1,795	1,779	1,748	1,741	1,711
	電力使用量(営業所含む)	1,000kwh	-	-	2,152	2,125	2,007
	灯油使用量	kℓ	195	166	159	150	150
	CO ₂ 排出量(本社のみ)※2	t-CO ₂	1,472	1,391	1,356	1,329	1,314
	CO ₂ 排出量(営業所含む)※2	t-CO ₂	-	-	1,529	1,495	1,442
	リサイクル	kg	252,209	264,369	247,727	218,215	171,608
	一般・産廃	kg	63,603	51,096	38,087	18,238	10,082
	グリーン購入率	%	92%	90%	94%	92%	93%

※1:温室効果ガスである5.5ガス(非エネルギー起源、CO₂、メタン、N₂O、HFC、PFC、SF₆)の排出はありません。
※2:CO₂排出量のうち、電力の排出係数は、平成21年度排出量算定用電気事業者別排出係数の実排出係数にて全報告期間を見直ししております。

■ 廃棄物の削減

廃棄物(不要物)の削減	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
リサイクル率	目標 80%	80%	84%	90%	93%
	結果 ☹️ 80%	😊 84%	😊 87%	😊 92%	😊 94%
不要物量 [Kg]	63,603	51,096	38,087	18,238	10,082
リサイクル [Kg]	252,209	264,369	247,727	218,215	171,608
総排出量 [Kg]	315,812	315,465	285,814	236,453	181,690



■ 温室効果ガスの削減 ※3

電力・灯油の削減	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
CO ₂ 換算での削減(2001年比)	目標 6%	5%	5.5%	-	-
	結果 ☹️ 3.8%	😊 10.2%	😊 7.3%	-	-
CO ₂ 換算での削減(2005年比)	目標 -	-	-	10.0%	10.0%
	結果 -	-	-	😊 11.6%	😊 13.3%
電力使用量 [1,000kwh]	1,795	1,779	1,748	1,741	1,711
灯油使用量 [kℓ]	195	166	159	150	150
CO ₂ 排出量 [t-CO ₂]※4	1,472	1,391	1,356	1,329	1,314

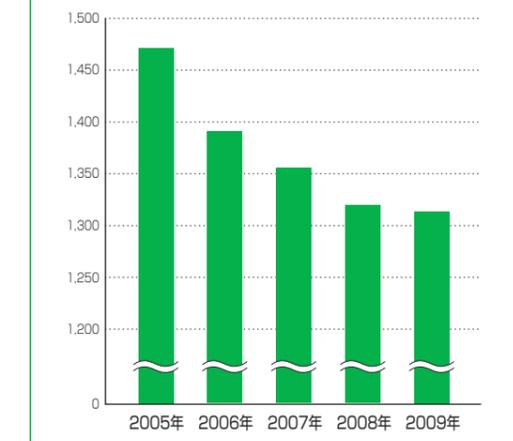
※3:ISO14001の認証範囲である本社のみを目標と結果です。
※4:CO₂排出量のうち、電力の排出係数は、平成21年度排出量算定用電気事業者別排出係数の実排出係数にて全報告期間を見直ししております。



■ 製品回収リサイクルの実績

期間	液晶ディスプレイ	プラント搬入質量(kg)	プラント搬入台数(台)	再資源化処理量(kg)	資源再利用量(kg)	資源再利用率(%)
2005年4月~2006年3月	事業系	43	8	1,011	797	78.7
	家庭系	968	179			
	合計	1,011	187			
2006年4月~2007年3月	事業系	380	71	2,630	2,180	82.9
	家庭系	2,250	416			
	合計	2,630	487			
2007年4月~2008年3月	事業系	640	119	4,100	3,540	86.6
	家庭系	3,460	640			
	合計	4,100	759			
2008年4月~2009年3月	事業系	1,050	194	4,950	4,250	85.9
	家庭系	3,900	721			
	合計	4,950	915			
2009年4月~2010年3月	事業系	1,131	209	9,051	7,827	86.5
	家庭系	7,920	1,464			
	合計	9,051	1,673			

● CO₂排出量 [t-CO₂]



■ グリーン購入

事務用品の購入(金額)	31期	32期	33期	34期	35期
目標	80%	90%	92%	-	-
結果	😊 92%	😊 90%	😊 94%	92%	93%

※特に指定のない場合、表内の年の表記は、当年の7/1から翌年の6/30までとなります。